

## 柏崎市の情報産業が 70 億円の目標を達成！

多くの産業がコロナ禍の影響を受けるなか、DX（デジタル・トランスフォーメーション）など時代の急激な変化に対応し、市の情報産業が成長しています。令和 3（2021）年に、77 億円の産業規模（売上）（※）となりました。令和 10（2028）年までに 70 億円規模を目指していたところ、7 年前倒しで達成しました。

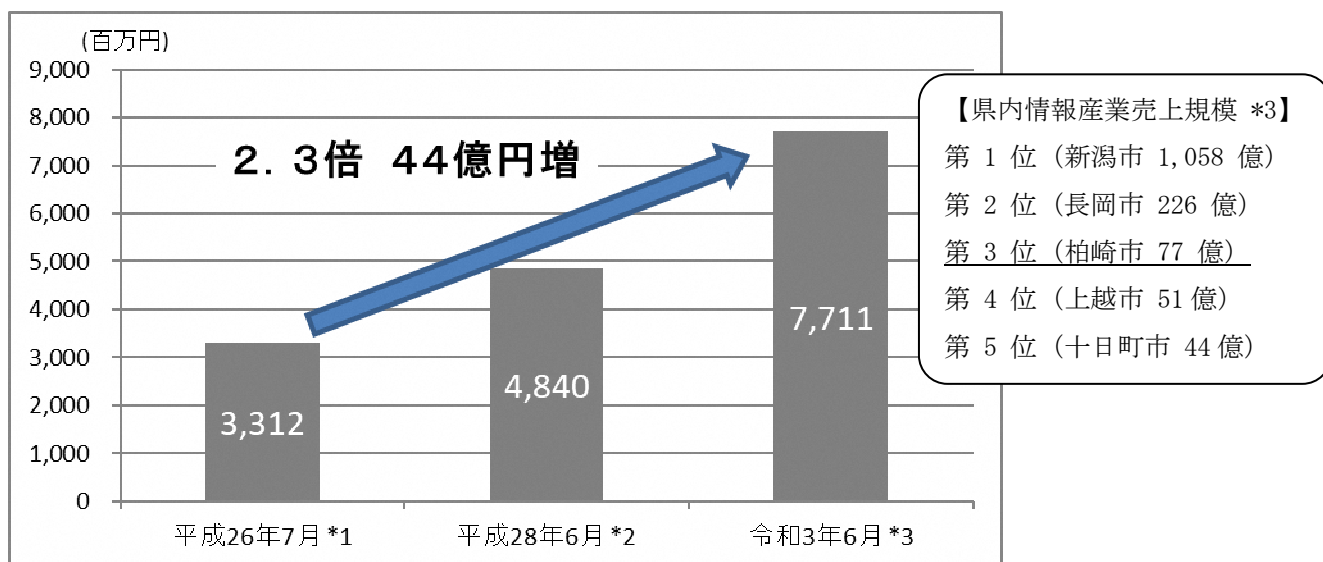
昭和 61（1986）年に「ソフトパーク構想」を策定して以来、40 年以上にわたり官民一体となって情報産業振興に取り組み、県内では新潟市、長岡市に次ぐ第 3 位の産業規模を有しています。また、市内では宿泊飲食業（95.1 億円）、鉱業・採石業等（95.7 億円）に追いつく勢いです。

市の情報産業が成長した要因として、公共分野における DX 投資への対応、新型コロナウイルス感染拡大に伴うシステム需要への対応などが挙げられます。

今回の結果を分析しながら、今後も引き続き、高度技術者育成支援、IT 商品開発支援、IT 経営相談などの各種支援策を行い、官民連携でさらなる情報産業の成長を目指します。

（※）日本標準産業分類の「情報サービス業」および「インターネット付随サービス業」の合計値

### 柏崎市における情報産業規模（売上）の推移



\*1 平成 26（2014）年 経済センサス基礎調査—事業所集計より

\*2 平成 28（2016）年 経済センサス活動調査—事業所集計より

\*3 令和 3（2021）年 経済センサス活動調査—事業所集計より